

高津・宮前地区

地区研だより

川崎市立中学校教育研究会
健康教育部会
高津・宮前地区研究会
平成26年12月 8日発行

11月28日(金)に犬蔵中学校において、平成26年度第2回高津・宮前地区の授業研究会が行われ1年生3クラスを午前中に実施し、午後2クラスを公開授業「生命の尊重(2時間扱いの2時間目)」をおこないました。

題材 生命の尊重



◎1時間目「生命の誕生を知ろう」

2時間扱いの1時間目の授業は、「生命創造」のビデオを視聴し胎児の成長の様子を理解するとともに命は誕生前から大切に育てられてきたこと、出産時の両親や周囲の人々の気持ちなど、自分一人で成長してきたのではなく家族に見守られて成長した結果、今の自分があることをねらいに授業を行い、生徒たちは生命の誕生を驚きながらもしっかり受け止めている姿が感想からみられました。ほんの一部ですが紹介します。

- ・だんだんと胎児が成長していく様子がよくわかりました。骨格や心臓がどんどん作られていて人間の生命を誕生させる能力がすごいと思いました。また、大切に育てられていたんだなあと思いました。
- ・体の中の赤ちゃんの成長を見たのははじめてだったので学べてよかった。
- ・「赤ちゃんが生まれるのは普通だ」などと母に言うのと「生まれるのは奇跡。ものすごくすごいことだよ」と言われたことが前にありました。私はその時、「何か奇跡?何かすごい?」と思っていました。でも今回ビデオを見て、成長するには赤ちゃんも頑張るって、母も頑張るって2人で協力してできていることなんだなあと思いました。
- ・子どもを生むためには病気に気をつけ、アルコールなどはやめ、気を遣って安全に生むようにすることがとても大事ということがわかりました。

◎ 2時間目「自他の生命を大切にすることを養おう」

2時間目の授業は、1時間目の授業を受けて感じたことや保護者にお願した誕生までの苦労話・



(親の)子どもへの思いを担当より伝え、「自分の命を大切に生きていく」ための考えを短冊に書き、お互い意見交換の後、同じ意見の短冊をまとめ見出し作りをしました。その後、各班の発表を聞きまとめになりました。公開した2クラスの担任の特徴が現れる授業でしたが、健康、家族、元気、安全、笑顔など、自(他)の生命を大切にすることを考えるよい機会になったと思います。

◎研究協議

良いところ

- ・教材の工夫あり
(テレビをタイマー代わりにしていた、保護者からのアンケート、短冊、模造紙の完成図の掲示、小さいときの写真など)
- ・保護者の思いが伝わってきた
- ・前回の振り返りをしっかりおこなっていた
- ・担任の導入がよかった

- ・意見の共有がなされていた
(他者の考えを共有する機会が多く設定できていた、短冊に書いた後、班で発表し発表の時に理由もきちんと言っていた)
- ・意見が出しやすい雰囲気があった
- ・生徒が中心になってすすめていた
- ・生徒達の素直な感想に心温まる
- ・2コマの健康教育の実施

教師

- ・発問のむずかしさ
- ・1時間目の授業の振り返りシートを返却して、個人として考える時間も必要に感じた
- ・テーマが深いので教師用の資料が重要に感じた
- ・ねらいの明確化(自分の命にしぼった方がよい)
- ・自他の他の部分に結びつけることのむずかしさ

生徒

- ・自分の命を大切にすることについての短冊にいたるまでに、生徒の思考が充分深まっていたのか疑問に感じる
- ・話しあいの中で言葉使いに配慮必要
- ・もう少し落ち着いた話し合いがあると一層よいように感じる



疑問・課題

【指導講評 川崎市総合教育センター カリキュラムセンター指導主事 木村めぐみ先生】

- ・1-3と1-5の授業公開でしたが、ねらい、流れにそれぞれ担任の特徴があらわれており、特別活動のだいごみのように感じました。
- ・重い題材のため、子どもたちにどうやってもっていけるのか、発問の仕方に難しさがあります。
- ・中学校1年生だと自分のこと、生命のことを考えて言葉にすることの難しさがありますが、学年が上がり成長するにしたがって上手に言葉で表現できるようになると思います。そういう意味で、今回の発問の仕方には工夫が必要になってくると感じます。
- ・今回のねらいは「自他の生命を大切に・・・」ですが、無理に他者までこだわらなくてもよいと思います。
- ・以前研修で WISH 教育について学びました。WISH 教育では性教育を生きる教育とし時間をかけて丁寧に人間関係を築く授業が行われます。今後も本日の授業を生かし続けてください。

【指導講評 川崎市立南生田中学校 校長 健康教育部会部会長 遠藤利美先生】

- ・発問の「自分の命を大切に生きていく」を「自分の命を大切にしないことってどういうこと」と発問したらどうだろうか。また、4人、6人班では雰囲気の違いを感じました。今後も継続をしてください。